



活動報告

虹たま通信

第11号 (活動報告)
令和4年 4月号
アトリエ 虹色たまご
代表 熊谷 ふう子

春暖の候、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます

アトリエ虹色たまごの活動はお陰様にて12年を経過し数多くの創作機会に恵まれ臨床美術作品等を通し皆様との交流を重ねて参りました。

令和3年度の活動報告についてお知らせをいたします。

今現在の会員数は14名の方々に支えられ、臨床美術士7名~8名の構成でコロナ禍の影響を受けながらも今年度も多くの方々と作品交流をしてきました。昨年12月21日~26日に「第4回作品展・笑顔は青空へ」を開催し高評価を得励みとなりました。今後も情勢を見ながら虹たま活動が出来ますよう皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます

<第4回作品展 笑顔は青空へ~> 令和3年12月21日~26日

東北電カグリーンプラザ アクアホールにて

- ・参加施設 9 (高齢者デイサービス、放課後等デイサービス、視覚障害者センター、児童館、福祉施設 臨床美術士)・総来場者数 486名 ・作品総数約200点 (オイルパステル画、水彩画、粘土、紙立体)

この作品展はコロナ禍においても私たちは元気に過ごし共に居る事や個々の「内なる力を信じて」をコンセプトに展示発表をしました

ミニコンサートの企画がコロナで中止となりましたが、多くの市民の方々と笑顔の交流が有り高評価でした

各施設での創作が10月~12月に集中をし作品をまとめるのに工夫を要しましたが、美術士の尽力で参加者の皆さんに喜ばれ又、自身の作品を会場内で触れ感慨も新たに語って下さいました。



会場風景

会場の風景



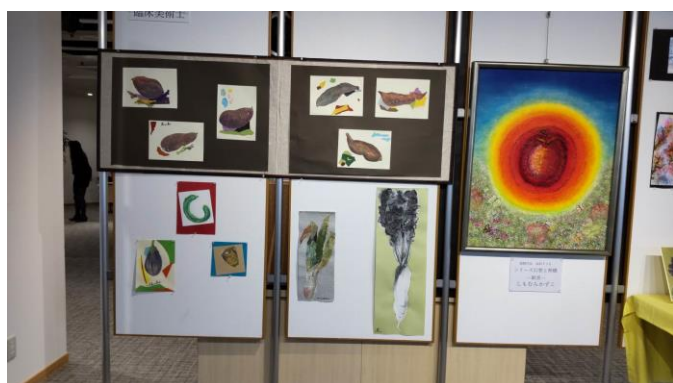
アイサポート仙台（火焰土器、紅葉屏風） かむりの里（りんごの量感画）



クリスマスキャンドル(抱優館南光台東)

臨床美術士作品

協賛作品



古城児童館（夢の動物園）（虫の王様）



〈目的〉

- ① 日頃の臨床美術作品の発表の場とする
- ② 参加者の誰でもアートに挑戦をする
- ③ 多くの市民との交流をし虹たま活動の普及を図る
- ④ 臨床美術士の研鑽の場とする

〈成果と反省〉

- ① 6日間の入場者数 486人
- ② コロナ禍にあり参加施設から喜ばれ又会場に足を運び自身の作品に触れ感慨を深めた
- ③ 視覚障害者のアートに対し会話や触覚等の感覚の重要性とそれらの可能性を見出すことができた
- ④ 会場内の白の柱の活用が欲しかった
- ⑤ コロナ禍で前回と比べ市内の人流が減り影響があった
- ⑥ 臨床美術士作品が多く参加し互いの活動の幅が広がり今後に繋がった
- ⑦ 1つ1つの展示が良く映え見ごたえがあった
参加施設から
 - ・家族との会話が増え、創作の集中力が向上した
 - ・出品者の家族の見学者が増えた

〈課題〉

- ① コロナ禍が今後も続き各施設での対面での創作が困難となり、今後の虹たま教室の工夫を要する
- ② 作品の鑑賞会を施設間で行い、会話を通し共感力を高める
- ③ 野外での作品展や企画での講演会を試みる

〈虹たま教室〉
デイサービスリハいらす将監
5回実施

令和3年 4月～9月



常時7名～8名が3年間継続し多くの作品
を共に楽しい時を過ごした

- 4月 テーブルセンター
- 5月 ガーベラの監察画
- 6月 石に描くデジタル画
- 7月 フロッタージュの貼り絵
- 9月 マティエール（オイルパステル）

特養老人ホーム抱優館南光台東
11月〈クリスマスキャンドル〉
18名参加

アイサポート仙台
〈視覚障害者センター 3回実施〉
10月 〈火焔土器〉



デイサービスかむりの里
〈りんごの量感画〉
32名参加



新型コロナの影響は2年を経過し今年度も感染者数が高止まりの傾向にあり注視の日常で、活動は状況を見ながらの展開となり従来通りの実施が困難です。一日も早く対面し笑顔の交流をと願うと共に私たち虹たまは、誰にでも創作を通し個々に寄り添い会話を続けていきたいと思ひます。皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



虹たまブログQRコード